

(様式1)

学校名	福島県立相馬高等学校	校長	菊田 勇雄
住所	福島県相馬市中村字大手先57-1		
TEL	0244-36-1331	URL	https://soma-h.fcs.ed.jp

乗り越えて、その先へ ～地域と共に歩む121年目の相馬高校～

☆取組の概要

本校は、明治31年4月に福島県第四尋常中学校として創立され、今年で121年目を迎えた県内屈指の伝統校です。校訓「至誠」のもと文武両道を追究し、様々な分野に有為な人材を送り出すことを目指して、教育活動に取り組んできました。

8年前の東日本大震災では、本校も被災し、通常の教育活動ができない期間がありましたがその時に地域の皆様からいただいた支援は、当時の生徒や教職員に活力を与えてくれました。そして、その支援に感謝し地域に貢献しようとする生徒が多くなり、地域のボランティア活動や各種行事に積極的に参加するようになりました。

本校は、昨年度から福島イノベーションコースト構想のトップリーダー育成校に指定され、現在、様々なプログラムに取り組んでいます。本年度は地域理解を通して、地域の復興・再生に貢献する人材の育成と各分野の第一線で活躍する人材の育成を更に進めます。

また、昭和44年に設置された理数科では、創造性と思考力を高めるための探究活動を取り入れた特色ある教育を展開しています。

☆内容

① 福島イノベーションコースト構想事業への取組

本校の2年生は、昨年度から福島イノベーションコースト構想事業における教育プログラムに取り組んでいます。1年目は、福島県の先進研究施設の見学や講演会を通して再生可能エネルギーや環境問題について学びました。2年目は、地域にある研究施設や地元企業の見学等を通して、廃炉技術・ロボット技術・エネルギー・産業復興について理解を深めるとともに、地域の課題を発見し解決に向けてアイデアを提案する取組を行っています。



② 理数科の取組

特徴的なカリキュラムを活かし、数学と自然科学に対する理解を深めるとともに、課題研究を通して問題解決能力を身につける取組を行っています。また、中学生科学実験教室において、地域の中学2年生に本校生が科学の不思議や面白さを直接伝えています。

③ 地域貢献活動への取組

震災後、相双地区では復旧・復興のボランティア活動が盛んに行われ、生徒たちも国道6号線の清掃活動や海岸の植栽活動等を行っています。また、地域の伝統行事や催し物への参加依頼を受け、相馬野馬追出陣式や地域の祭礼、相馬市の子ども科学フェスティバル等への協力を行うなど、意欲的に地域貢献活動に取り組んでいます。



④ バレーボール部の活躍

本校のバレーボール部は、平成29年度春の高校バレー全国大会に出場し、通算20回目の出場を果たしました。東日本大震災直後の全国大会にも出場し、全国の皆さんに対して支援への感謝と元気にプレーする姿を届けました。そして、本校バレーボール部の活躍は、今でも地域に活気を与えています。

☆参加者の感想 (福島イノベーションコースト構想事業：研究施設・地元企業見学)

○原子力発電所の廃炉には高度な科学技術が必要なことが改めて分かりました。ロボットの研究開発も自分の進路選択の一つに加えたいと思います。

作成

西暦2019年9月